

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	教育委員会	課	学校教育課	事業番号	5111				
<b>事業概要 (PLAN)</b>									
基本目標	5 女性の生涯にわたる健康の確保								
方針	1 女性の健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)に関する意識の浸透				重点方針				
施策の方向	1 学校等における性の教育の推進								
事業番号/事業名	5111 性の教育の推進								
事業内容	学習指導要領に基づき、外部人材の活用も含めて発達段階に応じた生命と人権を大切にす性の教育の推進を図る。								
30年度に向けた方向性 (PLAN)	【課題】 生徒が性について正しく考えることができるよう取組む必要がある。								
	【今後の方向性】 生徒の性に関する科学的認識を深めさせると共に、生命を尊重し、自らの行動を正しく判断・選択できる態度を育成することを目的とした学習指導要領の内容に基づいた、教科の授業や講演等の取組を継続する。								
参考	関連する計画								
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。								
30年度	<p>「保健」や「理科」の授業を通じて「男女の性差」「二次性徴」「生命の尊さ」等を学習する。小・中学校では、「こころの教育推進事業」を活用して産婦人科医師や助産師などを招き、性教育の講演を行った学校もあった。 外部講師による教育を実施した学校:(小学校12校/41校、中学校17校/18校)</p> <p>専門的な観点より命の大切さを学び自他の生命を大切にすることを学習する。思春期を迎えた生徒に対して、医療現場の立場から医学的専門知識を生徒にわかりやすく説明し、生徒が自他共に思いやりの気持ちをもって接することの大切さを学ばせるために性教育講演会を実施し、性交による妊娠、避妊、中絶、性感染症について説明を受ける機会をもうけるなどの取り組みを行った学校もある。</p>								
前年29年度	<p>「保健」や「理科」の授業を通じて「男女の性差」「二次性徴」「生命の尊さ」等を学習する。小・中学校では、「こころの教育推進事業」を活用して産婦人科医師や助産師などを招き、性教育の講演を行った学校もあった。 外部講師による教育を実施した学校:(小学校20校/41校、中学校16校/18校)</p> <p>専門的な観点より命の大切さを学び自他の生命を大切にすることを学習する。思春期を迎えた生徒に対して、医療現場の立場から医学的専門知識を生徒にわかりやすく説明し、生徒が自他共に思いやりの気持ちをもって接することの大切さを学ばせるために性教育講演会を実施し、性交による妊娠、避妊、中絶、性感染症について説明を受けるなどの取り組みを行った学校もある。</p>								
評価1		(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか							
実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとられずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓							
を入れてください									
評価2		(CHECK) 数値目標							
目標項目		保健所等と連携した性の教育を実施した校数の割合							
目標・実績		目標値	増加	達成年度	33年度	29年度	小学校:20/41校 中学校:16/18校	30年度	小学校:12校/41校 中学校:17校/18校
実績の評価		<input type="checkbox"/>	達成している	<input checked="" type="checkbox"/>	下回った	備考			
評価3		(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容							
		(学校教育課) 発達段階に応じた生命と人権を大切にす性の教育の実施にあたっては、性的マイノリティとされる児童・生徒にも配慮するとともに、互いの生命を尊重し、理解と思いやりの気持ちをもって接する人権尊重の観点から、可能な限り性別にかかわらず共に学ぶ機会を設けるなど工夫されたい。							
		男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について (学校教育課) 一部の学校にはなるが、性的マイノリティに関する講演会を開催し正しい知識を学ぶ機会を設けた。また、性の教育の実施の際には、性的マイノリティとされる児童・生徒に配慮するとともに、可能な限り性別に関係なく共に学ぶ機会を設けている。							
課題		(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。							
		生徒が性について正しく考えることができるよう継続的に取組む必要がある。							
今後の方向性		(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。							
		今後とも生徒の性に関する科学的認識を深めさせると共に、生命を尊重し、自らの行動を正しく判断・選択できる態度を育成することを目的とした学習指導要領に内容に基づいた、教科の授業や講演等の取組を継続する。							

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	教育委員会	課	学校教育課	事業番号	5112
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
	を入れてください				
評価2	(CHECK) 数値目標				
目標項目					
目標・実績	目標値	達成年度	年度	29年度	30年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容				
	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
	性の不安や悩みなど、親や友達に相談しにくいこともでも、保健室等なら「いつでも相談できる」と子ども達に身近に感じてもらうことが課題である。				
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。				
	一部の学校ではあるが、例えば身体測定で保健室に集合した際に、「保健室はケガや病気の時だけではなく、心配なことや悩みごとなど気になることをいつでも相談していい」ということを養護教諭から20分ほどかけて説明するなど、養護教諭や保健室を身近に感じるよう呼びかける機会を設けたり保健だよりで養護教員から生徒向けに「保健室の先生に話をしてください」などと呼びかけを行っている。相談窓口については朝会や全校集会、保護者への通知などで定期的に周知してだけでなく今後も生徒と養護教諭などの信頼関係を築くための機会を意識して作っていき、相談しやすい保健室と感ぜられるような呼びかけを行っている。				

事業概要 (PLAN)					
基本目標	5 女性の生涯にわたる健康の確保				
方針	1 女性の健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)に関する意識の浸透				重点方針
施策の方向	1 学校等における性の教育の推進				
事業番号/事業名	5112 思春期の性に関する心身の悩みの相談				
事業内容	保健室等で個別指導や教育相談を行うなど、性の不安や悩みに対する相談や性への健全な態度を培うように努める。				
30年度に向けた方向性 (PLAN)	【課題】子ども達に、「いつでも相談できる」と保健室等を身近に感じてもらうことが課題である。 【今後の方向性】普段から保健室に行けば相談できるという雰囲気づくりが大切である。性に関する講演会や保健委員会の活動でデートDVなどを取り上げることで、学校で性や男女交際について話すことはタブーではない、話題にしてよいという雰囲気をつくるとともに、その際に保健室が気軽に相談できる場であることを周知し、生徒が相談しやすい環境づくりを行っていく。今後も、保健室でいつでも相談できることを定期的に周知するとともに、性やデートDVなどに関する講演会を実施する。				
参考	関連する計画				
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
30年度	小学校でも、中学校でも、養護教諭やスクールカウンセラー等が児童生徒から性に関する悩みの相談を受けた時には、丁寧に個別に対応している。 ○年間の相談件数 小学校121件(性の不安や悩みに対する相談件数109件、二次性徴・身体の変化85件、デートDV2件、男女交際21件、その他13件)。 中学校319件(性の不安や悩みに対する相談件数272件、二次性徴・身体の変化111件、デートDV5件、男女交際110件、その他93件)。 高校25件(性の不安や悩みに対する相談件数25件、二次性徴・身体の変化0件、デートDV1件、男女交際20件、その他4件)。 【取組み例】 男女間の交際において互いに優しく支え合い、良好な関係を築く態度を育成することを目的に、尼崎市女性センター・テレビエ職員岩田さやか氏を講師に招き、3年生を対象にデートDV防止セミナーを行った。講演の途中には生徒のロールプレイングも行い、更にセミナー終了後、感想文を書かせることで、内容を深めさせた。また、助産師の古賀浩子氏を講師に招き、妊婦体験ベストなどを着用しながらいのちの誕生なども含めて、生命の尊さへの理解を深め、自己肯定感を高められるような公園をしていた。				
前年29年度	小学校でも、中学校でも、養護教諭やスクールカウンセラー等が児童生徒から性に関する悩みの相談を受けた時には、丁寧に個別に対応している。 ○年間の相談件数 小学校77件(二次性徴・身体の変化67件、デートDV0件、男女交際5件、その他5件)。 中学校247件(二次性徴・身体の変化90件、デートDV3件、男女交際64件、その他90件)。 高校17件(二次性徴・身体の変化0件、デートDV2件、男女交際6件、その他9件)。 【取組み例】 男女間の交際において互いに優しく支え合い、良好な関係を築く態度を育成することを目的に、尼崎市女性センター・テレビエ職員岩田さやか氏を講師に招き、3年生を対象にデートDV防止セミナーを行った。講演の途中には生徒のロールプレイングも行い、更にセミナー終了後、感想文を書かせることで、内容を深めさせた。また、生徒の性に関する科学的認識を深めさせると共に、生命を尊重し、自らの行動を正しく判断・選択できる態度を育成することを目的に、ウイメンズクリニック横田 院長 横田光氏を講師に招き、3年生を対象にいのちとこころの講演会を行った。講演終了後は感想文を書かせ、内容を深めさせた。講演会をきっかけに、性に関する不安や悩みを保健室で打ち明ける生徒がいる学校もあった。				

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	健康福祉局	課	健康増進課	事業番号	5113
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
	を入れてください				
評価2	(CHECK) 数値目標				
目標項目					
目標・実績	目標値	達成年度	年度	29年度	30年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容				
30年度	(DO) ※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
	【健康増進課】 事前の打ち合わせや事後カンファレンスを通して、学年担当教諭や性教育担当教諭、養護教諭などと性の知識や情報を共有し、児童・生徒へ性に関する健康教育を実施することで、性感染症の予防や予期しない妊娠の防止につなげる。 ・学校と連携した性教育 13回 733人(幼稚園1園、小学校2校、中学校2校)(南北保健福祉センター地域保健課と共同で実施分も含む)  性教育研究会の総会に行き、保健師等が性の教育の講座を実施していることを周知した。				
前年29年度	【健康増進課】 事前の打ち合わせや事後カンファレンスを通して、学年担当教諭や性教育担当教諭、養護教諭などと性の知識や情報を共有し、児童・生徒へ性に関する健康教育を実施することで、性感染症の予防や予期しない妊娠の防止につなげる。 ・学校と連携した性教育 21回 612人(幼稚園1園、小学校2校、中学校2校)(南北保健福祉センター地域保健課(29年12月までは保健センター・地域保健担当)と共同で実施分も含む)				
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。				
【健康増進課】 市保健師以外にも産婦人科医や助産師が、学校と調整を行い講座を行っている。全学校での実施に向け、様々な機会をとらえて性の教育を周知していく。					

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

<b>事業概要 (PLAN)</b>	
基本目標	5 女性の生涯にわたる健康の確保
方針	1 女性の健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)に関する意識の浸透 <b>重点方針</b>
施策の方向	2 母性保護についての意識啓発
事業番号/事業名	5121 ママやパパのためのマタニティーセミナー(両親学級)の実施
事業内容	母性の保護及び新生児の保育を主目的とした「ママやパパのためのマタニティーセミナー(両親学級)」を開催する。
30年度に向けた方向性 (PLAN)	【課題】 市の平日のマタニティーセミナーの受講者数が少ない。(平成29年度妊娠届出者数の15%が参加) 【今後の方向性】 妊娠前から切れ目ない支援を実施するために、平成30年4月から南北保健福祉センター地域保健課に母子健康支援包括支援センターを機能付加した。現在、妊娠届出妊婦の約15%と参加率は低い、そのうち41%は夫と一緒に参加出来ている。夫婦が妊娠中から共に子育てのイメージが持て協力して子育てが出来るよう産婦人科医院でのマタニティーセミナーの受講状況も確認しながら、今後も妊娠届出時等に積極的にマタニティーセミナーを勧めていく。
参考	関連する計画 地域いきいき健康プランあまがさき(地域保健医療計画)
<b>実施内容 (DO)</b>	<b>※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。</b>
30年度	<p>○ママやパパのためのマタニティーセミナー 妊娠前から子育てについての知識を習得し、妊婦同士や先輩ママとの交流会を取り入れることで、子育て中の孤立化を防ぎ、夫婦や地域で子育てを行う基盤づくりをしている。 妊娠からの産後の健康管理・子育て体験・妊婦体験・クッキング&amp;オーラルケア 74回(妊婦951人(実人数:525人 平成30年度妊娠届出妊婦のうち13.6%参加)、夫76人その他1人(祖父母等) 1回あたり13.8人参加 保健センター南北保健福祉センター地域保健課にて実施。</p> <p>○休日版 パパのためのマタニティーセミナー 仕事等で平日のマタニティーセミナーに参加できないパパのための育児教室を、日曜日に実施している。 【内容】①パパの妊婦体験 ②育児体験(オムツ交換・ミルクの飲ませ方・着替えの仕方など) ③先輩パパ・ママの出産・子育て体験談を聞いてみよう 【回数】2回/年 【参加者】142人(妊婦とパートナー53組106人、先輩パパ6人、先輩ママ6人子ども7人) ○休日版マタニティーセミナー(クッキング&amp;ブラッシング) 両親参加の子育ての視点や家族の健康を考えるきっかけとして、これまで妊婦対象に実施してきた栄養教室や歯の教室について夫婦対象に休日に開催した。 【回数】3回/年 【参加者】50人(妊婦とパートナー25組50人)</p>
前年29年度	<p>○ママやパパのためのマタニティーセミナー 妊娠前から子育てについての知識を習得し、妊婦同士や先輩ママとの交流会を取り入れることで、子育て中の孤立化を防ぎ、夫婦や地域で子育てを行う基盤づくりをしている。 ①妊娠からの産後の健康管理・子育て体験・妊婦体験 58回(妊婦625人(平成29年度妊娠届出妊婦のうち15%参加)、夫255人(夫婦で参加41%)その他13人(祖父母等) 1回あたり15.3人参加 保健センター・地域保健担当(平成29年12月まで)南北保健福祉センター地域保健課(平成30年1月から)で実施 ②マタニティークッキング ③マタニティ歯ッピーセミナー ○休日版 パパのためのマタニティーセミナー 仕事等で平日のマタニティーセミナーに参加できないパパのための育児教室を、日曜日に実施している。 【内容】①パパの妊婦体験 ②育児体験(オムツ交換・ミルクの飲ませ方・着替えの仕方など) ③先輩パパ・ママの出産・子育て体験談を聞いてみよう 【回数】2回/年 【参加者】142人(妊婦とパートナー58組116人、先輩パパ7人、先輩ママ9人子ども10人) ○休日版マタニティーセミナー(クッキング&amp;ブラッシング) 両親参加の子育ての視点や家族の健康を考えるきっかけとして、これまで妊婦対象に実施してきた栄養教室や歯の教室について夫婦対象に休日に開催した。 【回数】4回/年 【参加者】78人(妊婦とパートナー39組78人)</p>

局	健康福祉局	課	健康増進課	事業番号	5121
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
実施できた項目に	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
を入れてください					
評価2	(CHECK) 数値目標				
目標項目					
目標・実績	目標値	達成年度	年度	29年度	30年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容				
	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。				
	市の平日のマタニティーセミナーの受講者数が少ない。(平成29年度妊娠届出者数の15%が参加)				
	妊娠前から切れ目ない支援を実施するために、平成30年4月から南北保健福祉センター地域保健課に母子健康支援包括支援センターを機能付加した。現在、妊娠届出妊婦の約15%と参加率は低い、そのうち41%は夫と一緒に参加出来ている。夫婦が妊娠中から共に子育てのイメージが持て協力して子育てが出来るよう産婦人科医院でのマタニティーセミナーの受講状況も確認しながら、今後も妊娠届出時等に積極的にマタニティーセミナーを勧めていく。				

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

		局	健康福祉局	課	保健企画課、健康増進課 疾病対策課、感染症対策担当	事業番号	5211	
<b>事業概要 (PLAN)</b>		<b>評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか</b>						
基本目標 5 女性の生涯にわたる健康の確保		実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓						
方針 2 性差をふまえた女性の健康保持増進 <span style="float:right">重点方針</span>								
実施の方向 1 女性の健康をおびやかす問題に対する予防・啓発								
事業番号/事業名 5211 喫煙・アルコール・薬物・HIV/エイズ・性感染症に関する啓発		<b>評価2 (CHECK) 数値目標</b>						
事業内容 地域・職域を対象とした健康講座、エイズ予防啓発キャンペーン、覚醒剤乱用防止キャンペーン等を通じ、喫煙・アルコール・薬物・HIV/エイズ・性感染症に対する予防啓発を図る。		<b>目標項目</b>						
30年度に向けた方向性		【課題】 【健康増進課】 1 喫煙に対して無関心期にある喫煙者について 家庭でのCOPD健康相談や地区まつり等のイベント時に実施しているCOPD啓発・禁煙支援において、いかに喫煙者に関心をもってもらうかが課題であり、禁煙に対して無関心期にある者を禁煙無期・準無期へと、禁煙チャレンジに向けて段階を進めていけるような情報提供の工夫が必要である。 2 新型たばこについて 新型たばこの使用と病気のリスクとの関連性についての科学的根拠が得られていないことから、啓発や相談時にはっきりと根拠を伝えることができていない。 【疾病対策課 精神保健担当】未成年のアルコールの量については、知識が普及されていない一方で、実際には飲酒経験がある者が多いと推察される。特に、女性は男性に比べて少ない飲酒量、飲酒期間でアルコールの健康被害を受ける可能性が高いこともあり、引き続き啓発活動を実施する必要がある。 【疾病対策課 結核・感染症対策担当】 1 講演会について HIV・性感染症だけでなくLGBTや青少年の指も踏まえた内容とし、教員だけでなく青少年に携わる職員の参加を得ることができたが、対象とする若年層に情報が届く手法の検討が必要である。 2 エイズ予防啓発キャンペーンについて キャンペーンの実施場所・日時等について、より対象とする若年層に効果的な実施にむけて検討が必要である。 【保健企画課】 【今後の方向性】 【健康増進課】 1 喫煙による関連疾患(COPD・がん・循環器疾患)の発症・重症化予防のため、健診・検診時やイベント等を活用して、禁煙啓発および禁煙支援を継続していく。 2 新型たばこについては、国の動向や最新の情報を収集しながら、健康への影響等について市民に正しい知識の普及を図っていく。 【事業推進担当】平成30年度も月に「尼崎市たばこ対策推進条例」を制定予定であるため、普及啓発のためのフォーラム開催、パンフレット作成を行う。また、条例に基づき禁煙支援を進めるため、より効果的な禁煙支援の取り組みを引き続き検討する。 【疾病対策課 精神保健担当】アルコール依存症は、うつ状態等から自殺につながるケースが多いため、自殺対策事業として取り組んでおり、平成30年3月には自殺対策計画の作成を行った。今後も、自殺対策計画に基づき、自殺に結びつく可能性の高い依存症について啓発に取り組んでいく。 【疾病対策課 結核・感染症対策担当】講演会及びキャンペーンは本来の啓発の対象とする若年層により情報が届くように、引き続き教育委員会及び健康増進課等と連携を図るとともに市内大学・専門学校等とも連携していく。 【保健企画課】 【薬物】今後も関係機関と連携を図り、薬物乱用防止に努める。						
(PLAN)		目標・実績		目標値	達成年度	年度	29年度	30年度
考参 関連する計画 地域いきいき健康プランあまがさき(地域保健医療計画)		実績の評価		<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
<b>実施内容 (DO)</b>		<b>(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容</b>						
30年度 別紙参照		<b>評価3</b>						
		<b>男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について</b>						
		<b>課題 (CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。</b>						
		【保健企画課】 (薬物) 薬物の乱用については、特に大麻についての検挙人員が過去最高を更新している。そのうち半数以上が若年層であり、社会問題となっている。 【疾病対策課】 依存症に関しては、実際に手にする前の青少年に対してアルコールや薬物、ギャンブル等の依存症の正しい知識の普及や啓発活動は必要である。アルコールについては、女性は男性に比べ『リスク飲酒量』(生活習慣病のリスクを高める飲酒量)が2分の1と低く、アルコールによる健康被害を受ける可能性が高い。引き続き、啓発活動を実施する必要がある。 【感染症対策担当】 HIV及び性感染症の啓発のため、大学に出向いて、直接学生と対話しながらリーフレットを配布することができたが、青少年に関わる教員や職員とともに青少年の現状課題を共有し、より効果的な啓発手法を検討する必要がある。						
前年 29年度 別紙参照		<b>今後の方向性 (ACTION) ※上記課題解決にむけての取り組みの方向性を記載してください。</b>						
		【保健企画課】 (薬物) 今後も関係機関と連携を図り、薬物乱用防止に努める。 【疾病対策課】 依存症とうつ病は自殺につながるケースが多いため、今後も自殺対策計画に基づき自殺に結びつく可能性の高い依存症についての講演会や啓発に取り組んでいく。 【感染症対策担当】 啓発の対象となる青少年にHIV及び性感染症に関する知識や情報が届くように、引き続き、市内関係課と連携を図るとともに、市内大学や専門学校等と連携して普及啓発活動を行う。						

実施内容	
30年度	前年 29年度
<p><b>【健康増進課】</b>                      ・COPD健康相談における禁煙支援(86人 内喫煙者59人)                      ・COPD健康相談で把握した禁煙希望者に対して、電話もしくは手紙で禁煙チャレンジ状況を確認し、状況に応じて禁煙支援を実施                      (1か月以内の禁煙希望者29人の内、連絡がとれなかった5名を除く24名中、禁煙中の者は13人)                      ・肺がん検診の結果通知書でたばこの健康影響に関する情報提供                      ・母子健康手帳交付時の啓発ビラの配布(4,058人)、必要に応じて保健指導を実施                      ・乳幼児健診での啓発ビラの配布                      ・世界禁煙デーのポスター配布・掲示依頼(子育て関連施設:39か所)                      ・市内小中学生の禁煙ポスターを加工した媒体の公用車・公用自転車への掲示による啓発(5月24日～6月21日)                      ・市内主要駅6か所、本庁に受動喫煙防止啓発のための啓発のぼりを設置(5月24日～6月21日)                      ・市内禁煙外来マップを配布し、禁煙治療実施医療機関の情報を提供                      ・市内医療機関と連携し、禁煙外来マップの情報を更新                      ・地区まつり(大庄)において、喫煙者を対象に肺年齢測定と禁煙啓発を実施(31人 内喫煙者7人、喫煙経験者6人)                      ・たばこの健康影響に関する出前講座(関西保育福祉専門学校:247人)                      ・たばこの健康影響に関する出前講座(1回 13人)</p> <p><b>【疾病対策課】</b>                      &lt;アルコール依存症等に対する啓発&gt;                      ・平成30年12月17日(月)「依存症という病気について」 県立高校生等335名参加                      講師:『リカバリハウスいちご尼崎』管理者・武輪真吾氏等                      内容:高校生に対し、依存症全般の知識を伝達し、疾病に罹患するリスクの軽減を図った。                      ・平成31年3月2日(土)「飲酒と健康を考えるあまがさき市民セミナー」 市民等75名参加                      講師:『県立ひょうごこころの医療センター』副院長 葛山 秀則先生                      内容:市民に対し、アルコール依存症に関する知識伝達及び回復のための社会資源の情報提供</p> <p><b>【感染症対策担当】</b>                      &lt;エイズ予防啓発活動&gt;                      (1)啓発用のぼりの設置                      実施期間:平成30年6月1日～6月30日及び平成30年11月12日～12月11日                      実施場所:JR立花駅駅周辺、JR尼崎駅周辺、JR塚口駅周辺、阪急塚口駅周辺、阪急武庫之荘駅周辺、阪神尼崎駅周辺、阪神出屋敷駅周辺                      (2)キャンペーン                      ア. 大学におけるキャンペーン                      実施日:平成30年6月7日及び6月12日                      実施場所:関西国際大学、園田学園女子大学                      配布内容:HIV及び性感染症啓発リーフレット等 300部                      イ. 成人の日のつどいにおけるキャンペーン                      実施日:平成31年1月14日                      配布内容:HIV及び性感染症啓発コドーム及びリーフレット等 200部                      (3)ポスター掲示                      実施期間:平成30年6月1日～6月30日及び平成30年12月1日～12月31日                      実施場所:市内大学、専門学校、中学校及び高等学校</p> <p><b>【保健企画課】</b>                      ○「ダメ。ゼッタイ。」普及運動(平成30年7月13日)対象1,000人                      JR立花駅周辺にのぼり・横断幕を掲出。啓発物品を配布した。                      ○中学校への薬物乱用防止啓発パネル展示(市立中学校5校)                      3年間で全市立中学校を1巡する。</p>	<p><b>【健康増進課】</b>                      ・COPD健康相談における禁煙支援(132人 内喫煙者84人)                      ・COPD健康相談で把握した禁煙希望者に対して、電話もしくは手紙で禁煙チャレンジ状況を確認し、状況に応じて禁煙支援を実施                      (1か月以内の禁煙希望者29人の内、連絡がとれなかった5名を除く24名中、禁煙中の者は13人)                      ・肺がん検診の結果通知書でたばこの健康影響に関する情報提供                      ・母子健康手帳交付時の啓発ビラの配布(4,058人)、必要に応じて保健指導を実施                      ・乳幼児健診での啓発ビラの配布                      ・世界禁煙デーのポスター配布・掲示依頼(子育て関連施設:39か所)                      ・市内小中学生の禁煙ポスターを加工した媒体の公用車・公用自転車への掲示による啓発(5月25日～6月22日)                      ・市内主要駅6か所、6支所に受動喫煙防止啓発のための啓発のぼりを設置(5月25日～6月22日)                      ・市内禁煙外来マップを配布し、禁煙治療実施医療機関の情報を提供                      ・市内医療機関と連携し、禁煙外来マップの情報を更新                      ・地区まつり(大庄)において、喫煙者を対象に肺年齢測定と禁煙啓発を実施(41人 内喫煙者19人、喫煙経験者8人)                      ・たばこの健康影響に関する出前講座(関西保育福祉専門学校:247人)</p> <p><b>【事業推進担当】</b>                      ・禁煙支援や受動喫煙防止対策等を盛り込んだ、「尼崎市たばこ対策推進条例」の制定に向けて取り組みを進めた。</p> <p><b>【疾病対策課 精神保健担当】</b>                      &lt;アルコール依存症等に対する啓発&gt;                      ・平成29年12月18日(月)「依存症という病気について」 県立高校生等970名参加                      講師:『リカバリハウスいちご尼崎』管理者・武輪真吾氏等                      内容:高校生に対し、依存症全般の知識を伝達し、疾病に罹患するリスクの軽減を図った。                      ・平成30年3月3日(土)「飲酒と健康を考えるあまがさき市民セミナー」 市民等125名参加                      講師:『植松クリニック』院長・植松直道氏                      内容:市民に対し、アルコール依存症に関する知識伝達及び回復のための社会資源の情報提供</p> <p><b>【疾病対策課 結核・感染症対策担当】</b>                      1. エイズ啓発講演会(市政課題研修として実施)                      (1)実施日 平成30年3月9日(金) 午後2時～午後4時30分                      (2)内容 「HIV・性感染症からみた性的指向・性自認のつながり～LGBTの健康課題とその背景～」                      (3)参加者 市内の小中学校・中学校及び高等学校教員、本市職員等 53名                      2. エイズ予防啓発キャンペーン                      (1)実施日 平成29年7月6日                      (2)配布場所 JR立花駅前                      (3)配布内容 エイズ予防啓発パンフレット・検査日啓発用ティッシュ                      (4)配布部数 1,000部</p> <p><b>【保健企画課】</b>                      ○「ダメ。ゼッタイ。」普及運動(平成29年7月6日)対象1,000人                      JR立花駅周辺にのぼり・横断幕を掲出。啓発物品を配布した。                      ○中学校への薬物乱用防止啓発パネル展示(市立中学校5校)                      3年間で全市立中学校を1巡する。</p>

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局		健康福祉局	課	健康増進課、感染症対策担当	事業番号	5221
<b>事業概要 (PLAN)</b>		<b>評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか</b>				
基本目標	5 女性の生涯にわたる健康の確保					
方針	2 性差をふまえた女性の健康保持増進				重点方針	
施策の方向	2 妊娠・出産期における女性の健康支援					
事業番号/ 事業名	5221 各種教室(思春期・エイズ・禁煙・成人健康)・保健師の健康相談					
事業内容	思春期の健康、エイズ、喫煙等に対する正しい知識を普及、啓発し女性の健康づくりを図る。また、学校と連携して防煙教室を実施する。					
30年度に 向けた 方向性  (PLAN)	<p>【課題】 【健康増進課】妊娠・出産などのライフイベントは、喫煙者にとって禁煙チャレンジの大きなきっかけとなることから、母子健康手帳交付時、出生届出時に啓発ビラ・媒体の配布を行っている。また、妊娠を機に禁煙しても、出産後、授乳終了後、育児や対人関係でストレスがたまった時等、再喫煙しやすい時期があることから、1歳6か月児健診でも喫煙者及び禁煙中の者に禁煙啓発・支援を行っている。 しかし、1歳6か月児健診及び3歳児健診において、家庭内での喫煙者を調べたところ、どちらも父親が3割強、母親が7%台となっており、喫煙者の割合が減らない現状がある。禁煙又は禁煙を継続できない保護者に対してどのように継続的な禁煙支援を行うかが課題である。 【今後の方向性】 【健康増進課】子育て世代は、子育ての不安やイライラが再喫煙へのきっかけになることも多いことから、不安に寄り添い子育て不安の軽減を図る。</p>					
参考	関連する計画	地域いきいき健康プランあまがさき(地域保健医療計画)				
実施内容	(DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
30 年度	【健康増進課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>母子健康手帳交付時の啓発ビラの配布(3857人)、必要に応じて保健指導を実施</li> <li>市民課協力のもと、出生届出時に喫煙者のうち希望者を対象に禁煙宣言マグネットシート配布(400部)</li> <li>1歳6か月児健診時、禁煙中及び喫煙している保護者を対象に禁煙支援パンフレット配布(1,285人)</li> <li>たばこの健康影響に関する啓発リーフレットの配布(市内全小学校及び養護学校6年生)(3,509人) <ul style="list-style-type: none"> <li>→平成29年度から保健所を経由せず兵庫県から教育委員会に直接依頼されている</li> </ul> </li> <li>たばこの健康影響に関する出前講座(関西保育福祉専門学校:247人)</li> </ul>				
	【感染症対策担当】	<ol style="list-style-type: none"> <li>HIV/エイズに関する相談及び検査の実施 (1)HIV抗体検査 509件 (男性351人、女性158人) (2)相談 1400件</li> <li>性病の検査の実施 梅毒407件、クラミジア270件、淋病209件</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>HIV/エイズ及び性感染症に関する啓発活動 (1)主要7駅前において啓発用のぼりを設置 (2)市内大学及び専門学校においてキャンペーン及びポスター等の掲示</li> </ol>				
前年 30 年度	【健康増進課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>母子健康手帳交付時の啓発ビラの配布(3857人)、必要に応じて保健指導を実施</li> <li>市民課協力のもと、出生届出時に喫煙者のうち希望者を対象に禁煙宣言マグネットシート配布(400部)</li> <li>1歳6か月児健診時、禁煙中及び喫煙している保護者を対象に禁煙支援パンフレット配布(1,285人)</li> <li>たばこの健康影響に関する啓発リーフレットの配布(市内全小学校及び養護学校6年生)(3,509人) <ul style="list-style-type: none"> <li>→平成29年度から保健所を経由せず兵庫県から教育委員会に直接依頼されている</li> </ul> </li> <li>たばこの健康影響に関する出前講座(関西保育福祉専門学校:247人)</li> </ul>				
	【疾病対策課】	<ol style="list-style-type: none"> <li>HIV/エイズに関する相談及び検査の実施 (1)HIV抗体検査 444件 (男性293人、女性141人) (2)相談 1055件</li> <li>性病の検査の実施 梅毒276件、クラミジア181件、淋病132件</li> </ol>				
評価2 (CHECK) 数値目標		目標項目				
目標・実績		目標値	達成年度	年度	29年度	30年度
実績の評価		<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
評価3		(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容				
		男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
課題		(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
今後の方向性		(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。				
		【感染症対策担当】引き続き、正しい知識の普及啓発及び相談・検査機会を提供することにより、相談・検査を受けやすい環境づくりに取り組んでいく。				

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	健康福祉局	課	健康増進課	事業番号	5222
事業概要 (PLAN)	基本目標 5 女性の生涯にわたる健康の確保 方針 2 性差をふまえた女性の健康保持増進 <b>重点方針</b> 施策の方向 2 妊娠・出産期における女性の健康支援 事業番号/事業名 5222 妊娠・出産期における健康支援 事業内容 母子健康手帳交付時に全妊婦を対象に妊婦健康相談を実施、ハイリスク妊婦の早期発見、支援し、また妊婦健診の結果報告を活用し、妊娠中の健康管理と将来の疾病等の予防に努める。 元年度に向けた方向性 (PLAN) 【課題】(健康増進課)平成28年度尼崎市健康づくりアンケート調査によると「産後の心身の状態で」「いつも疲れている」「イライラする」が約4割と出産前後の妊婦の不安が高い。子育てのイメージが出来ないまま育児を行っていたり、具体的に相談できる人が身近にいないことも一因と考えられる。【今後の方向性】望まない妊娠や母子健康手帳交付の遅れ、妊婦健診未受診などの課題もあるが、妊娠期から妊産婦の不安に寄り添い継続した支援につなげていく体制を構築する。早い時期からの(妊娠11週以内の)妊婦届出数も増加しており、支援を必要とする妊婦への対応も継続して、医療機関と連携しながら行っていく。平成30年4月から南北保健福祉センター地域保健課に母子健康包括支援センターの機能付加したことにより、リスクの高い人のみならず、全妊婦を対象に妊娠期からの切れ目ない支援を行えるよう体制を構築していく。 参考 関連する計画 地域いきいき健康プランあまがさき(地域保健医療計画)				
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
実施できた項目に	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとられずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
を入れてください					
評価2	(CHECK) 数値目標				
目標項目					
目標・実績	目標値	達成年度	年度	29年度	30年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容				
30年度	【健康増進課】(健康増進課・南北保健福祉センター地域保健課で実施) ・妊婦健診助成事業 ・支援が必要な妊産婦へ家庭訪問・面接・電話相談を実施 ・母子健康手帳交付時に保健師による全数の面接相談を実施し、若年及び高齢妊婦、シングルマザー、不安感、喫煙、飲酒などのリスクを把握し、早期に個別の支援につなげている。また、医療機関と連携し、支援が必要な乳児や妊産婦について、医療機関から情報提供書を介して、保健師が早期に関係機関と連携しながら支援に入る兵庫県システム(養育支援ネット)がある。年2回の医療機関との連携会議を開催することで、問題の共有や課題の整理などを行うとともに、関係機関との信頼関係を深め、支援のネットワークを図っている。 妊婦歯科健診 妊婦歯科健診併設して「食事・歯のセミナー」を開催 マタニティセミナークッキング&ブラッシング(調理実習とオーラルケアの実技を取り入れた講座)				
30年度	【健康増進課】(健康増進課・南北保健福祉センター地域保健課で実施) ・妊婦健診助成事業(前期:3,926人、後期:3,508人、基本:延べ35,560人(うち基本(S):3,768人) ・支援が必要な妊産婦へ家庭訪問・面接・電話相談を実施 ・母子健康手帳交付時に保健師による全数の面接相談を実施し、若年及び高齢妊婦、シングルマザー、不安感、喫煙、飲酒などのリスクを把握し、早期に個別の支援につなげている。また、医療機関と連携し、支援が必要な乳児や妊産婦について、医療機関から情報提供書を介して、保健師が早期に関係機関と連携しながら支援に入る兵庫県システム(養育支援ネット)がある。年2回の医療機関との連携会議を開催することで、問題の共有や課題の整理などを行うとともに、関係機関との信頼関係を深め、支援のネットワークを図っている。 妊婦歯科健診(18回、425人) 妊婦歯科健診併設して「食事・歯のセミナー」を開催(18回、224人) マタニティセミナークッキング&ブラッシング(調理実習とオーラルケアの実技を取り入れた講座)(12回、70人)				
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
30年度	平成28年度尼崎市健康づくりアンケート調査によると「産後の心身の状態で」「いつも疲れている」「イライラする」が約4割。「子育てに自信がない」が約4割と出産前後の妊婦の不安が高い。子育てのイメージが出来ないまま育児を行っていたり、具体的に相談できる人が身近にいないことも一因と考えられる。				
30年度	望まない妊娠や母子健康手帳交付の遅れ、妊婦健診未受診などの課題もあるが、妊娠期から妊産婦の不安に寄り添い継続した支援につなげていく体制を構築する。早い時期からの(妊娠11週以内の)妊婦届出数も増加しており、支援を必要とする妊婦への対応も継続して、医療機関と連携しながら行っていく。平成30年4月から南北保健福祉センター地域保健課に母子健康包括支援センターの機能付加したことにより、リスクの高い人のみならず、全妊婦を対象に妊娠期からの切れ目ない支援を行えるよう体制を構築していく。				



平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	総合政策局	課	健康増進課	事業番号	5231
事業概要 (PLAN)	評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか <input type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
基本目標	5 女性の生涯にわたる健康の確保				
方針	2 性差をふまえた女性の健康保持増進				重点方針
施策の方向	3 成人期・高齢期等における女性の健康づくり支援				
事業番号/事業名	5231 更年期健康支援				
事業内容	更年期の健康づくり支援のための更年期教室、骨粗鬆症予防教室の取組を検討する。				
30年度に向けた方向性 (PLAN)	【課題】 保健所内で実施している「骨元気アップ相談会」の経年参加者は、自身の骨密度への関心が高く、骨の健康づくりのための生活習慣(食生活・運動習慣等)の維持・改善に取り組んでいる人が多い。しかし、市全体の課題である「若い女性のやせ」や「朝食の欠食」、また、骨量測定を通して見えてくる「子育て・働き世代の運動習慣の取り入れにくさ」等の課題がある。 【今後の方向性】 引き続き、関係部署・機関と連携しながら市民が集う場所に向き、世代ごとの目標(骨量形成・成長期、骨量維持期、骨量減少期)に向けた健康づくりの取組・啓発を行うことで、市民の生活習慣病の予防および「若い女性のやせ」、「朝食の欠食」等の課題解決につなげる。				
参考	関連する計画				
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
30年度	【健康増進課】(一部で実施) ○保健所内での骨量測定 ・骨元気アップ相談会 (方法)超音波骨密度測定装置を用いた踵の骨量測定、BIA法による体脂肪率、筋肉量等の測定と生活習慣アンケート、これらの結果に基づく健康教育を行う。 (実施日)毎週月曜日(午後1時～午後2時受付)と水曜日(午前9時～午前10時受付)に実施する。 (実績)95回、518人 ・子育て・働き世代(更年期)を対象とした骨量測定会(4回、45人) ○保健所外での骨量測定 ・市政出前講座による骨量測定(19回、478人) ・市内高校の文化祭における骨量測定会(生徒以外に教職員や保護者が対象:1回、91人) ・「立花商店街子ども夏まつり」、「すこやかまつり」における骨量測定会(2回、170人) ・3月1日～8日「女性の健康週間」にあわせ、パンフレット配布やポスター掲示等啓発を行う他、骨量測定会を実施(1回、45人)				
前年29年度	【健康増進課】(一部で実施) ○保健所内での骨量測定 ・骨元気アップ相談会 (方法)超音波骨密度測定装置を用いた踵の骨量測定、BIA法による体脂肪率、筋肉量等の測定と生活習慣アンケート、これらの結果に基づく健康教育を行う。 (実施日)毎週月曜日(午後1時～午後2時受付)と水曜日(午前9時～午前10時受付)に実施する。 (実績)95回、482人 ・子育て・働き世代(更年期)を対象とした骨量測定会(2回、33人) ○保健所外での骨量測定・・・29年度は特に、子育て・働き世代(更年期)を対象とした所外での「骨の健康づくり」の啓発に力を入れた。 ・市政出前講座による骨量測定(17回、406人) ・市内高校の文化祭における骨量測定会(生徒以外に教職員や保護者が対象:1回、120人) ・「立花商店街子ども夏まつり」、「すこやかまつり」における骨量測定会(2回、162人) ・3月1日～8日「女性の健康週間」にあわせ、パンフレット配布やポスター掲示等啓発を行う他、骨量測定会を実施(1回、49人)				
評価2 (CHECK) 数値目標	目標項目 目標・実績 目標値 達成年度 年度 29年度 30年度 実績の評価 <input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った 備考				
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
今後の方向性 (ACTION)	※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。 引き続き、関係部署・機関と連携しながら市民が集う場所に向き、世代ごとの目標(骨量形成・成長期、骨量維持期、骨量減少期)に向けた健康づくりの取組・啓発を行うことで、市民の生活習慣病の予防および「若い女性のやせ」、「朝食の欠食」等の課題解決につなげる。				

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	総合政策局	課	健康増進課	事業番号	5232																
<b>事業概要 (PLAN)</b>	<b>評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか</b>																				
基本目標	5 女性の生涯にわたる健康の確保																				
方針	2 性差をふまえた女性の健康保持増進 <span style="float:right">重点方針</span>																				
施策の方向	3 成人期・高齢期等における女性の健康づくり支援																				
事業番号/事業名	5232 子宮頸がん検診・乳がん検診の実施																				
事業内容	子宮頸がんや乳がんを早期に発見し、早期治療につなげるために子宮頸がん検診を実施する。また、がん検診の重要性などの意識啓発に努め、市民の健康管理意識の向上と健康の保持増進を図る。																				
30年度に向けた方向性 (PLAN)	【課題】ポスター掲示や出前講座等を通じ、受診勧奨に取り組んでいるものの、子育て中の20～40代の受診者数は少ない。 【今後の方向性】がんの早期発見と正しい健康意識の受給啓発に努め、健康の保持、増進を図る。リーフレットの工夫やがん検診手帳の整備等、医療機関でのポスター掲示等の受診啓発を通じ、がん検診の受診促進を図る。																				
参考	関連する計画																				
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。																				
30年度	【健康増進課】 1. がん検診 ①子宮頸がん検診 【対象者】20歳以上(4月1日現在)の市民(女性)の方 【方法】問診、子宮頸部(膣部・頸管部)の細胞診検査 【実績】平成30年度 3,871人 ②乳がん検診 【対象者】40歳以上(4月1日現在)の市民(女性)の方 【方法】問診、視触診、マンモグラフィ検査及び自己触診法の指導 【実績】平成30年度 4,591人 ※市のがん検診推進事業として、一定の年齢に達した者に対しがん検診の無料クーポン券を配付し受診を促進する。 ・子宮頸がん検診(20歳の女性)、乳がん(40歳の女性) ・子宮がん・乳がん検診のポスター掲示による啓発 【地域保健課】 ・出前講座によるがん検診受診啓発・乳房模型を用いた自己触診法の指導(5回・95人) ・乳がん月間(10月)に、6支所及び女性センターテレビエでのパンフレットの配布・パネルの掲示、乳幼児健診時の集団指導で講話を実施																				
前年29年度	【健康増進課】 1. がん検診 ①子宮頸がん検診 【対象者】20歳以上(4月1日現在)の市民(女性)の方 【方法】問診、子宮頸部(膣部・頸管部)の細胞診検査 【実績】平成30年度 3,983人 ②乳がん検診 【対象者】40歳以上(4月1日現在)の市民(女性)の方 【方法】問診、視触診、マンモグラフィ検査及び自己触診法の指導 【実績】平成29年度 4,413人 ※市のがん検診推進事業として、一定の年齢に達した者に対しがん検診の無料クーポン券を配付し受診を促進する。 ・子宮頸がん検診(20歳の女性)、乳がん(40歳の女性) ・子宮がん・乳がん検診のポスター掲示による啓発 【地域保健課】 ・出前講座によるがん検診受診啓発・乳房模型を用いた自己触診法の指導(5回・63人) ・乳がん月間(10月)に、6支所及び女性センターテレビエでのパンフレットの配布・パネルの掲示、乳幼児健診時の集団指導で講話を実施 ・がん予防に関する健康教育、がん検診の受診啓発に関する健康講座を実施(1階・12人)																				
評価2 (CHECK) 数値目標	目標項目 ①子宮頸がん検診、②乳がん検診の受診率 目標・実績 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>目標値</th> <th>ひんごくに増加</th> <th>達成年度</th> <th>33年度</th> <th>29年度</th> <th>①8.8%(3,983人) ②9.1%(4,414人)</th> <th>30年度</th> <th>①7.1%(3,871人) ②10.0%(4,591人)</th> </tr> <tr> <td>実績の評価</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>達成している</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>下回った</td> <td>備考</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					目標値	ひんごくに増加	達成年度	33年度	29年度	①8.8%(3,983人) ②9.1%(4,414人)	30年度	①7.1%(3,871人) ②10.0%(4,591人)	実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考		
目標値	ひんごくに増加	達成年度	33年度	29年度	①8.8%(3,983人) ②9.1%(4,414人)	30年度	①7.1%(3,871人) ②10.0%(4,591人)														
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考																
評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について																				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。																				
今後の方向性 (ACTION)	※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。 がんの早期発見と正しい健康意識の受給啓発に努め、健康の保持、増進を図る。リーフレットの工夫やがん検診手帳の整備等、医療機関でのポスター掲示等の受診啓発を通じ、がん検診の受診促進を図る。																				

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	総合政策局	課	ダイバーシティ推進課	事業番号	5233
<b>事業概要 (PLAN)</b> 基本目標 5 女性の生涯にわたる健康の確保 方針 2 性差をふまえた女性の健康保持増進 <b>重点方針</b> 施策の方向 3 成人期・高齢期等における女性の健康づくり支援 事業番号/事業名 5233 女性の健康についての啓発 事業内容 生涯を通じた女性のこころとからだの健康を支援するため、多様な年代を対象とする講座を行う。		評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか 実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください	評価2 (CHECK) 数値目標 目標項目 目標・実績 実績の評価		
30年度に向けた方向性 (PLAN) 【課題】 担当者が毎年変わる連携先もあり、良好な関係を築くために丁寧な事業説明が必要である。 【今後の方向性】 行政、民間団体、市民団体等と協力しながら事業(セミナー、展示、情報提供等)を実施していくことで、女性の健康について幅広い周知につながるよう努める。		評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について	課題 (CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。		
参考	関連する計画	30年度 【女性センター】 ●女性のこころとからだの健康支援 ○「ツボミスクール&防災・防犯デコホイッスル作り」(講師:谷本貴子(株)ワコール ツボミスクールインストラクター 受講者数:9組17人) ○「アサーティブに！私の気持ちを伝えよう」(講師:フェミニストカウンセリング神戸所属講師 受講者数:120人) ●「ピンクリボンキャンペーン ～月一回のセルフチェックからはじめよう～」 ●ブックフェア「ピンクリボン」「アサーティブに！私の気持ちを伝えよう」			
参考	関連する計画	前年 29年度 【女性センター】 ●女性のこころとからだの健康支援 ○「ツボミスクール 成長期の女の子のからだを知ろう&かんたんタオルポーチ作り」(講師:弓戸 貴子(株)ワコール ツボミスクールインストラクター 受講者数:11組23人) ○「平成29年度男女共同参画市民企画講座 マインドフルネスを楽しむ ～ストレスと上手につきあうコツを体験しましょう～」(講師:林 玲子 受講者数:32人) ○「あまがさき女性フェスティバル 骨密度測定」(尼崎市健康増進課 50人) ○「母娘関係で悩んでいる女性のためのグループカウンセリング」(講師:フェミニストカウンセラー のべ30人) ●「ピンクリボンキャンペーン ギャラリー展&無料イベント」(15日間) ●ブックフェア「女性のための防災」「ピンクリボン」			
実施内容 (DO) ※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。		今後の方向性 (ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。 生涯を通じた女性の健康を支援するため、多様な年代を対象とする講座を行う必要がある。			
		行政、民間団体、市民団体等と協力しながら事業(セミナー、展示、情報提供等)を実施して、幅広い世代を対象とした講座等を行うよう努める。			